

令和8年度 第3回 豊田市石野地域会議 会議録

開催日時	令和8年6月23日（火）	開会	閉会
		午後7時00分	午後8時15分
会 場	石野交流館 大会議室		
出 席 者	地域会議委員：13人		
	会長：梅村 清春 副会長：大岩 芳伸		
	委員：生田 源彦	河原 信昭	清水 克彦
	清水 剛	手嶋 直人	中川 広恵
欠 席 者	1名 竹田 祐司		
	1名 西田 又紀二（旭地区地域会議委員）		
傍 聴 者	1名 西田 又紀二（旭地区地域会議委員）		
事 務 局	猿投支所：小澤支所長、天野副支所長、前田主査、宮石担当長		
内 容	1 豊田市民の誓い 2 会長あいさつ 3 新たな提言に向けた取組について 4 その他		

■ 議事（要約）

3 新たな提言に向けた取組について（協議）

- （1）資料1頁から2頁までを事務局から説明：協議スケジュール等
- （2）資料3頁から8頁までを事務局から説明：前回の意見内容、提言書修正等
- （3）資料9頁から10頁までを事務局から説明：グループワークについて

【グループワーク】30分

- ① 提言内容全体について
- ② 取組内容、共働の役割分担について

【グループワーク協議内容共有】

A グループ

- ① バスや地域タクシーについての記述は少なくし、耕作放棄地の増加について増やしてはどうか。高齢化により獣害対策や農機具等機械設備の更新等ができないため耕作放棄地が増えている。その部分の文章を増やすことによって石野の特徴が示せるのではないかと、という意見が出た。①の協議で終了した。

B グループ

- ① プロジェクトチームの設立について、メンバーには、積極的に転入者を入れる必要がある。転入者の孤立防止を考える際には、転入者の意見を聞く必要がある。また、その意見を高齢者の悩み解決につなげることも考える必要がある。
- ② 3点意見が出た。1点目は、石野の人材の登録制度を作るべきではないかとい

う意見。現在の活動について、後継者を考える際、住民のうち誰がどのようなことができるか把握が必要である。石野の強みは人材であると考え、人材資産の発掘なのか人材バンクなのか、登録制度が必要であり、その事務局を行政に担ってほしいという意見があった。

2点目は、石野の将来検討会を設置したらどうかという意見。知見のある方を集め、10年先30年先の石野の将来像とその変化を見据え、今後を考える必要がある。メンバーは郷土芸能や防災などに関わっている人、石野地域内にこだわらず、石野を出ていった人、世代別にも選定し、検討していきたい。

3点目は、アンケートの取り方についての意見。転入者の孤立感は何に対しての孤立感か、高齢者へのアンケートに質問項目を追加するべきだと考える。転入者への質問項目として、石野地区を選んだ理由や、その人たちの5年後10年後の将来像についても尋ねたい。また、アンケートの実施について、サマーフェスタ等、参加者が盛り上がっているイベントで、依頼するのはどうか。アンケートの取り方、取る場所により回答に影響すると思う。

Cグループ

- ① 3点意見が出た。1点目は、市長に対する提言の文章としては、文言が弱いのではないかということ。2点目はこの提言に若い人たちが関わる具体的な内容の記載をしてはどうかという意見。3点目は、最後の「期待する効果」の項目に取組内容の予想成果を含めてはどうかという意見。
- ② アンケート調査は小学校単位でイベントを企画し、対面での調査をしたらどうか。行政に対してはお助け隊の事務局の場所の提供などを求めたい。
その他、若い世代の集まるイベントを企画してはどうか。具体的には、小学校単位で、警察の音楽隊等を招いての交通教室イベントなどが挙げられる。

各グループの回答シート事務局提出

4 その他

【事務連絡】

- ・交通死亡事故警報発令、台風接近について注意喚起
- ・次回の予定

日 時：令和8年7月28日（火）午後7時から

場 所：石野交流館 1階 大会議室